



新着図書の中から一部をご紹介します

□できるケアマネジャーになるために 知っておきたい75のこと



高瀬比左子／編著
メディカル・ケア・サービス
対人支援職のハブであるケアマネジャーが地域とともに新しい働き方を模索する。ケアマネの魅力を再発見できる実践書。

□介護事業所のカスハラ・問題職員対応術



島田直行／著
日本法令
介護事業所において放置できない問題であるカスハラと問題職員への対応。その実践的な解決策を提案する。

□終末期・看取り期における コミュニケーション



平方眞／著
中央法規出版
これまで4000人以上を看取ってきた著者が、終末期・看取り期のコミュニケーションの重要性、対応に困りがちな場面のポイントをわかりやすく解説。

□もし君が君を信じられなくなっても



毛利直之／首藤厚之／著
西日本新聞社
音楽と向き合い、不登校の過去を乗り越えた子どもたち。「いじめ」「発達障害」などキーワード別に事例をまとめた実践的なヒント集。

□世界一眠らない日本に疲労専門医が伝えたい お疲れ日本人の本当の休み方



梶本修身／著
Gakken
「疲れている人」が減らない日本。長年疲労を研究、患者も多く診てきた医師が「医学的かつ科学的に正しい真の疲労回復」を伝授。

□透析を止めた日



堀川恵子／著
講談社
なぜ、がん患者以外は「緩和ケア」を受けられないのか？ 透析患者の終末期に生じる問題について、患者の家族の立場から国の医療政策に一石を投じる。

□痛いところから見えるもの



頭木弘樹／著
文藝春秋
潰瘍性大腸炎から腸閉塞まで、絶望的な痛みとともに生きていた著者が、同じ体験をしていない人にも共感してもらえるよう、文学作品を多用しながら「痛み」を語る。

第3回 企画展のお知らせ

『ストレスと上手につき合うために
～自分にあった対処法を見つけよう～』

1月10日(土)～2月12日(木)
ウィリング横浜 11階 情報資料室内にて